

令和元年（2019年）人間環境大学卒業生アンケート調査結果

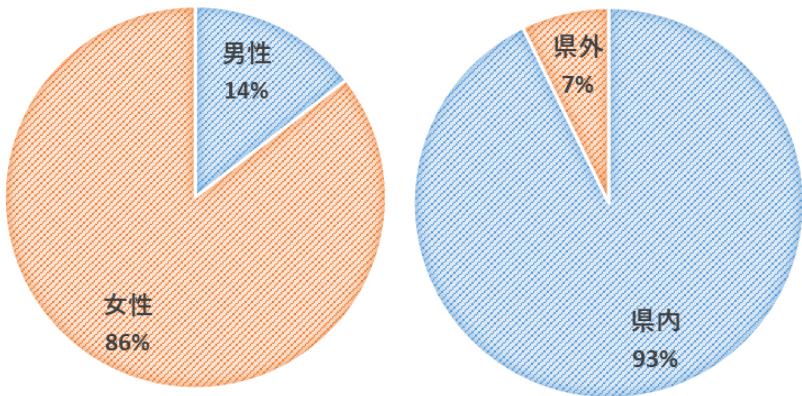
I. 調査の概要

1. 実施期間：令和元年 9月 17 日～9月 30 日
2. 調査対象：1期生 94人、1期生が就業する42施設
3. 調査方法：無記名自記式アンケート調査
卒業生が就業する施設に調査用紙を送付し、回答を依頼した。
4. 回答数：卒業生 69名 (73.4%)、35施設 (83.3%)
5. 調査用紙は別紙参照

II. 調査結果の概要

1. 対象の概況

- 1) 性別
- 2) 居住地



2. 就業状況

1) 就業状況

仕事をしている	68
していない	0
休職中	1

* 休職後、退職者 1名（アンケートとは別に報告あり）

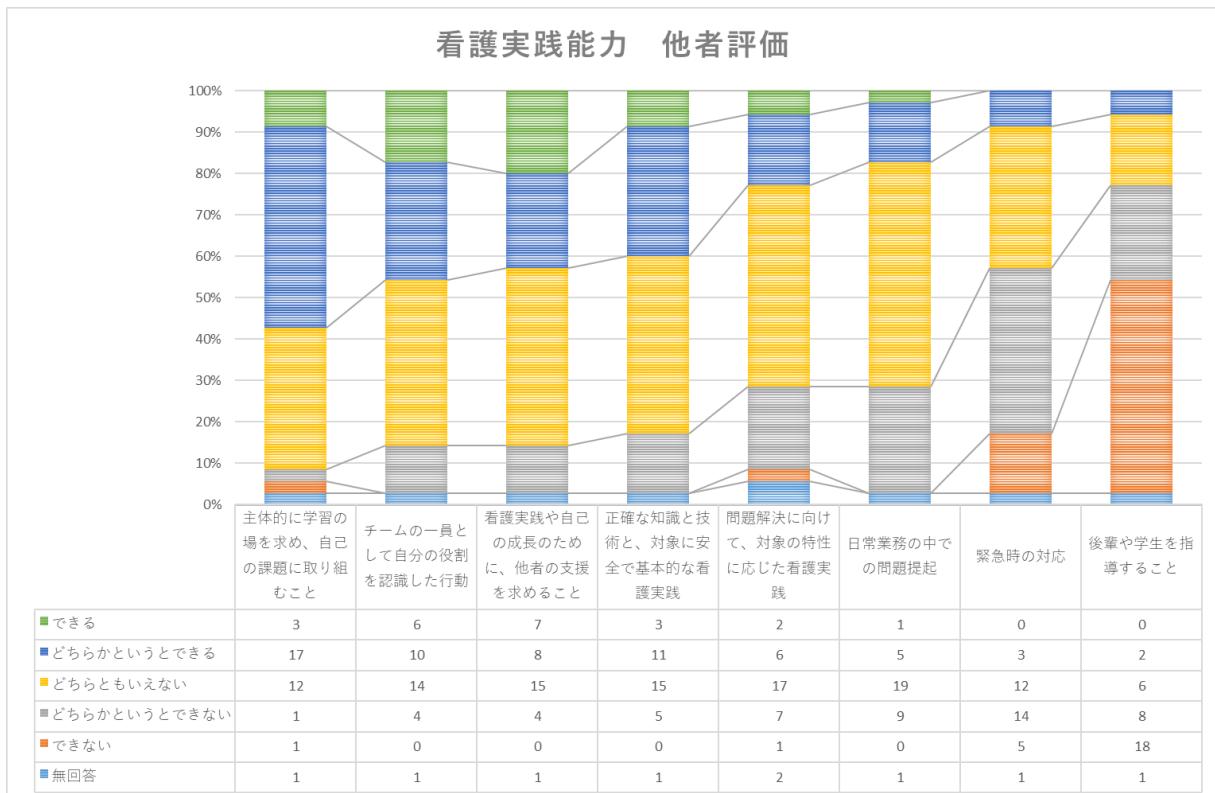
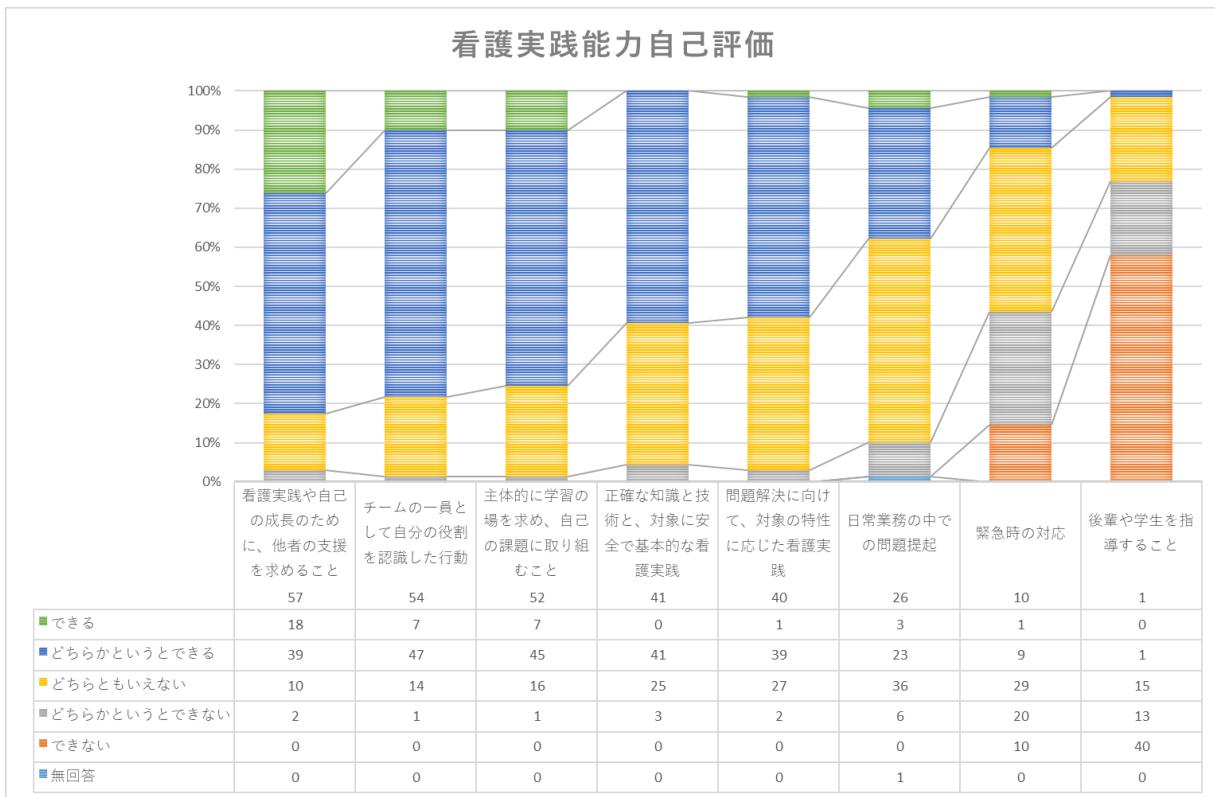
2) 就業免許

看護師	67
保健師	1
養護教諭	0
その他	0
無回答	1 (休職)

3) 就業場所

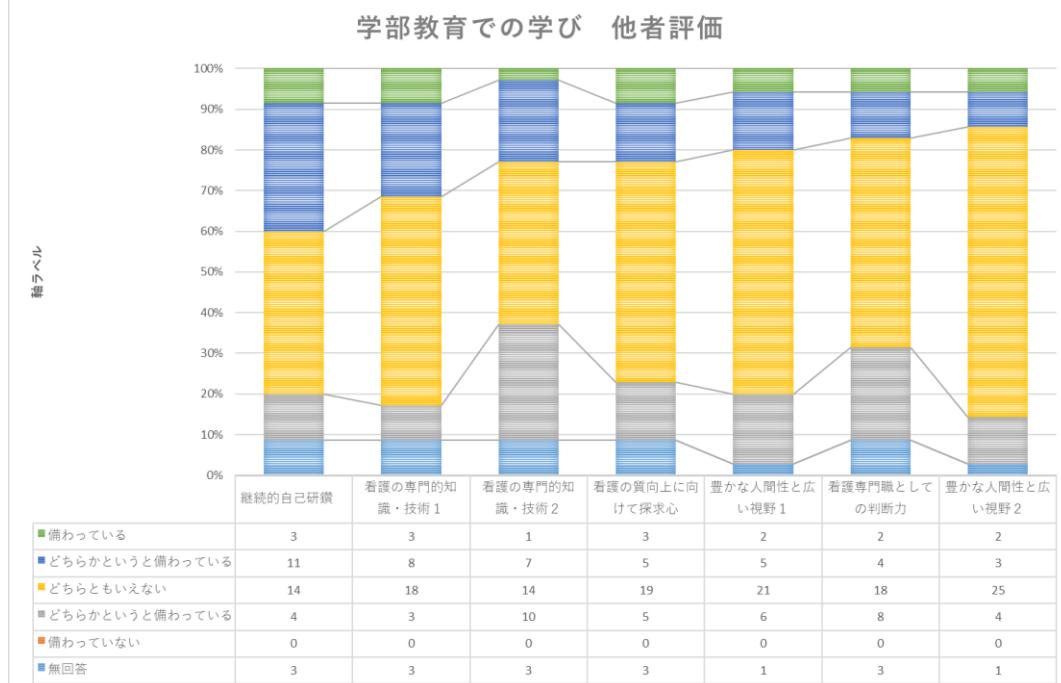
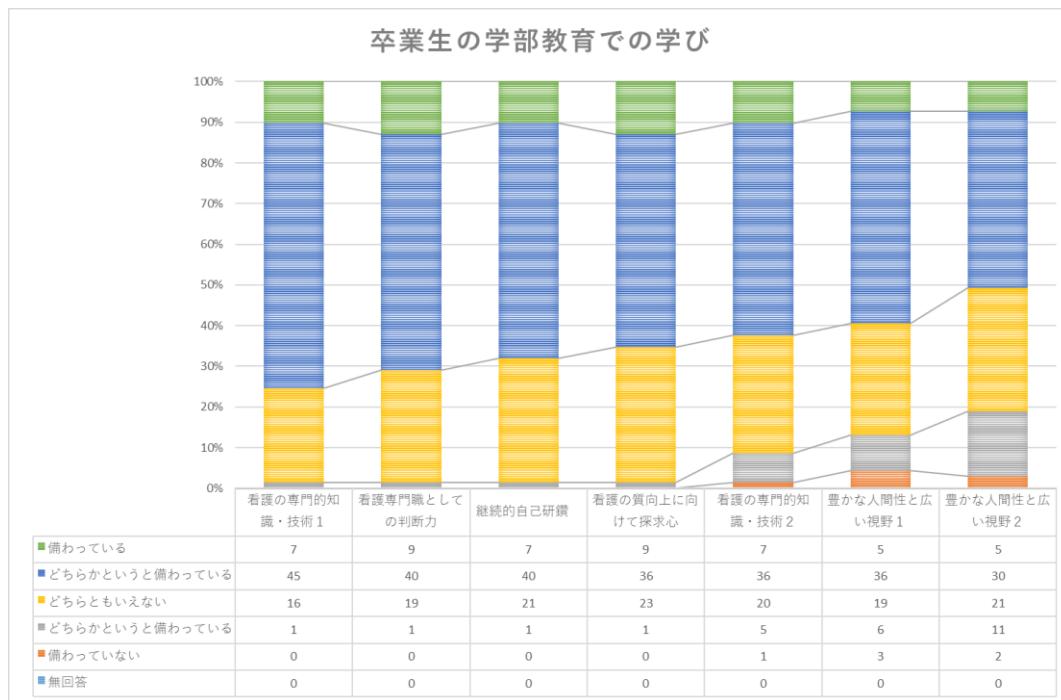
一般病院	62
精神科病院	5
診療所	0
学校	0
保健所	1
無回答	1 (休職)

3. 看護実践能力評価（自己評価、他者評価）

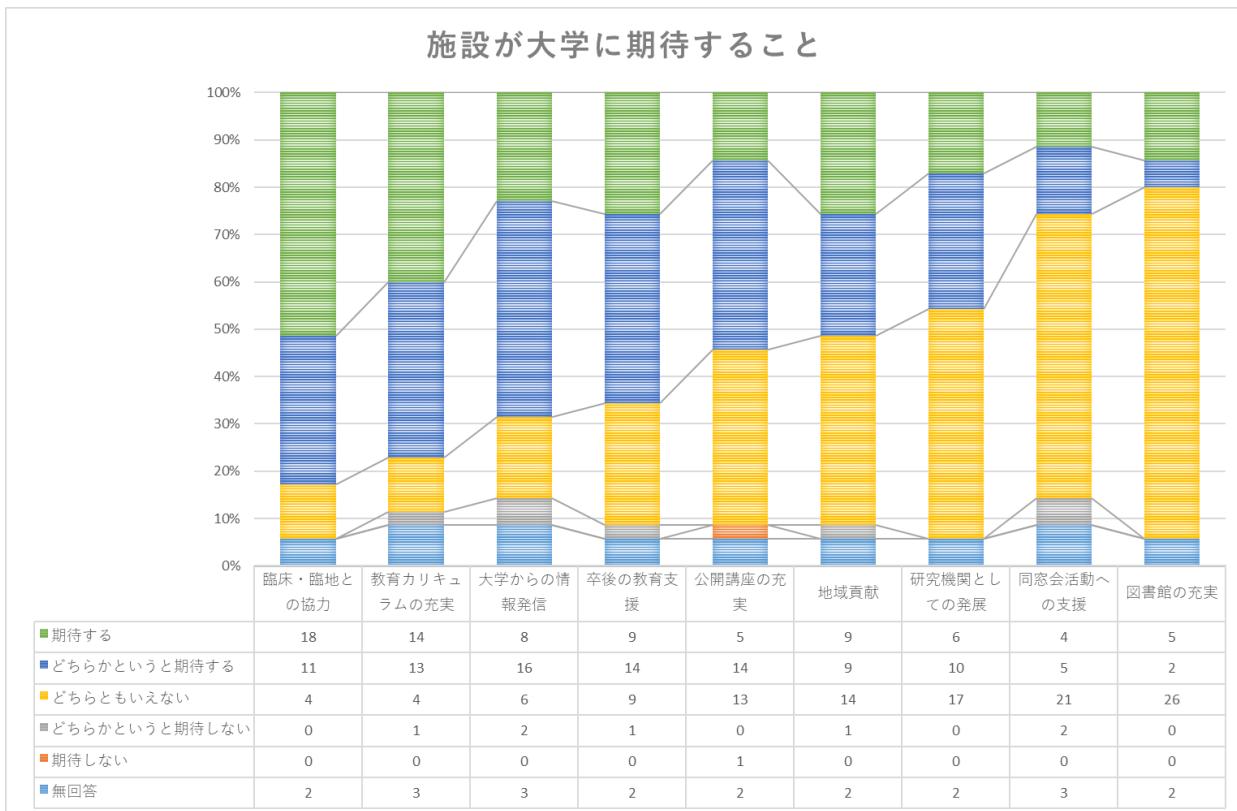
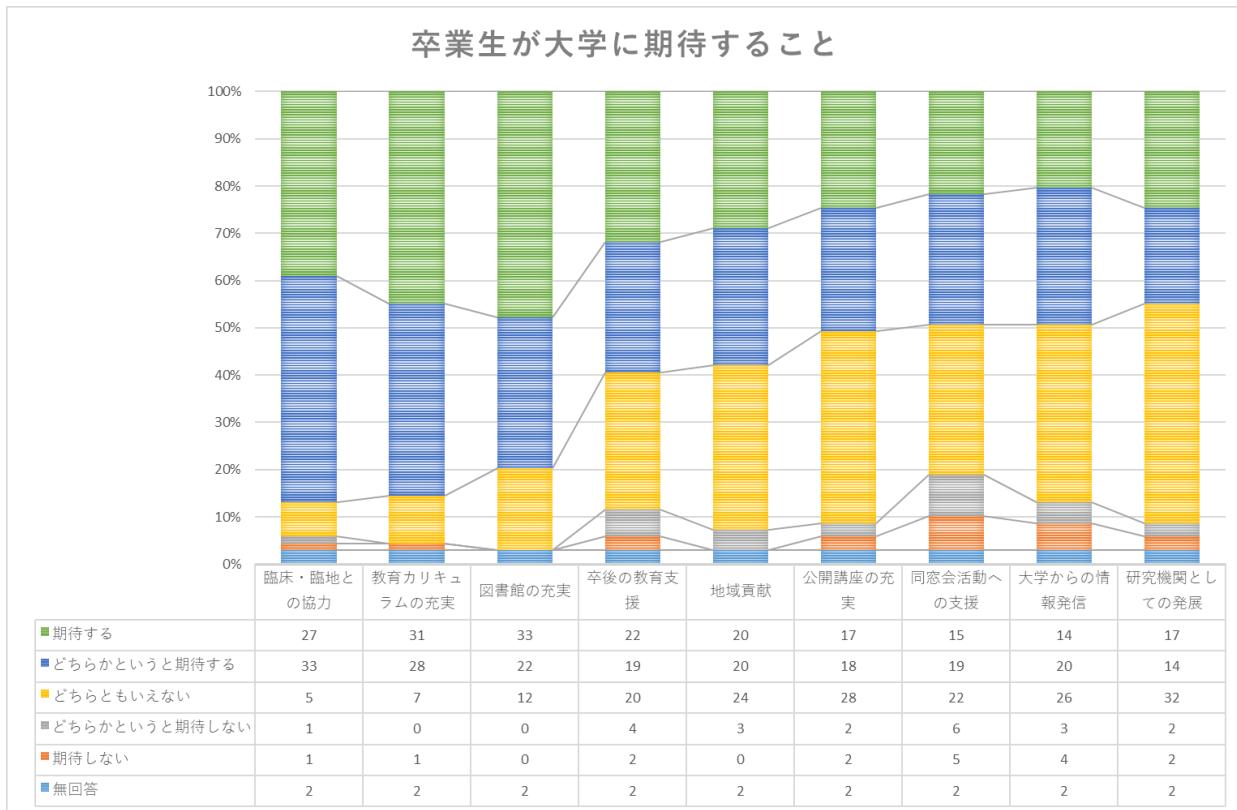


4. 学部教育での学びについては、ディプロマポリシーを評価

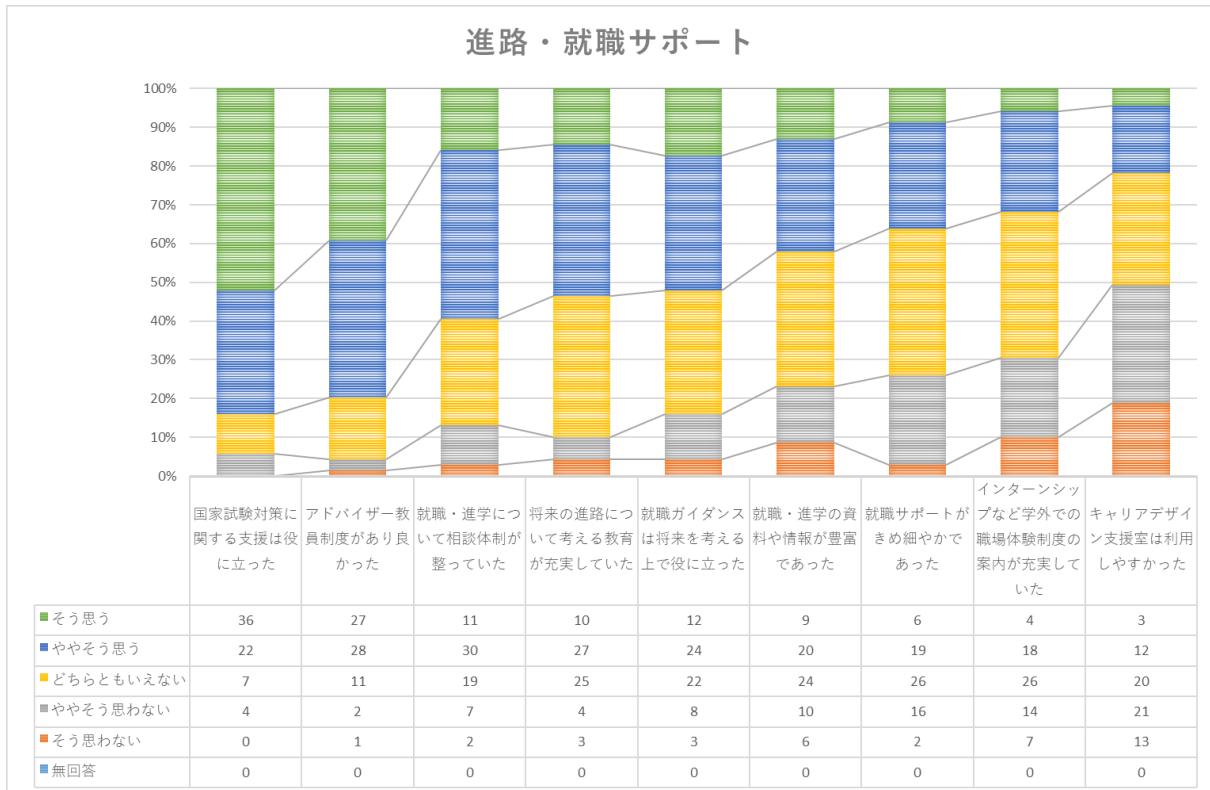
- 豊かな人間性と広い視野 1：歴史、文化、社会、環境と人間にに関する幅広い教養を持ち、人々の多様性を理解し、人間関係を築くことができる
- 豊かな人間性と広い視野 2：グローバルな視野をもち、人々の多様な健康ニーズと生活を多面的に捉えることができる
- 看護の専門的知識・技術 1：人々の健康ニーズに対応（予防、改善、解決）するための看護実践に必要な基礎的能力を身につけている
- 看護の専門的知識・技術 2：保健医療福祉において調整・連携し、協働する能力を身につけている
- 看護専門職としての判断力：専門職業人としての高い倫理観をもち、科学的・論理的思考に基づいて判断することができる
- 看護の質向上に向けて探求心：人々が健康に生きるために支援を科学的に探究するための基礎的能力が身についている
- 継続的自己研鑽：保健医療福祉に貢献するために専門的な分野についての継続的自己学習力を身につけている



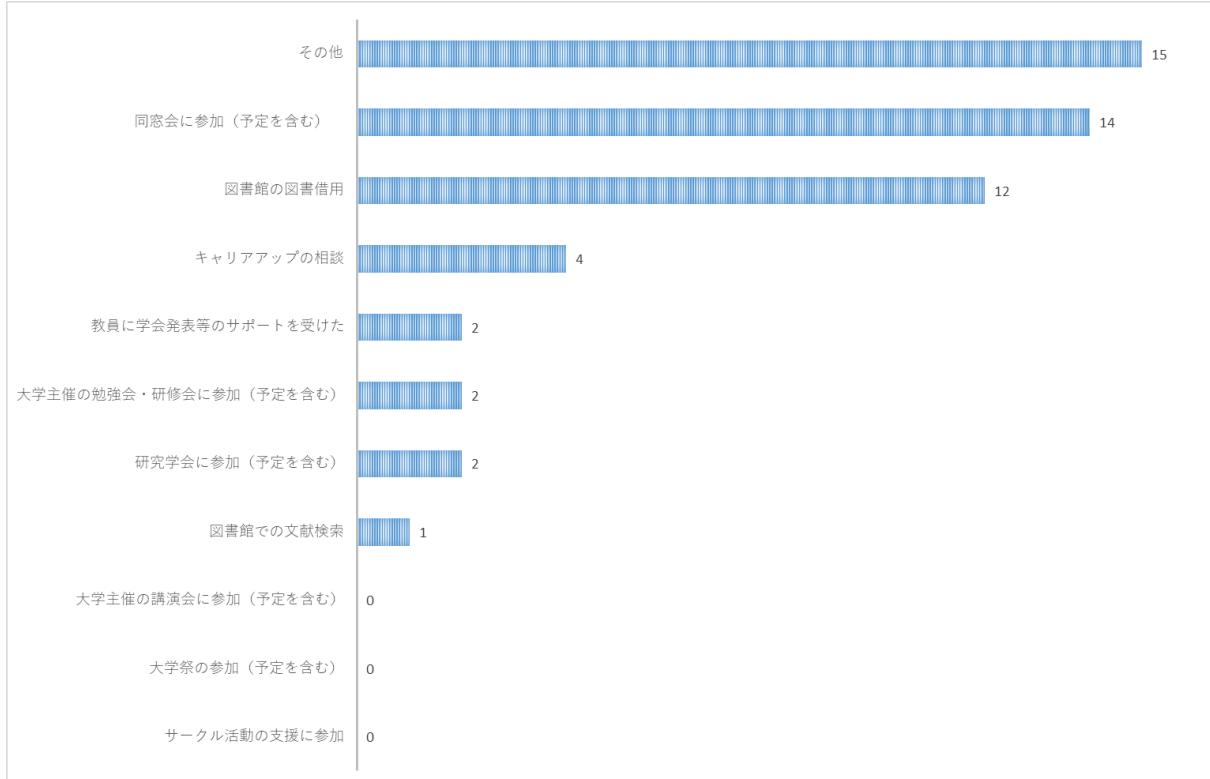
5. 大学に期待すること



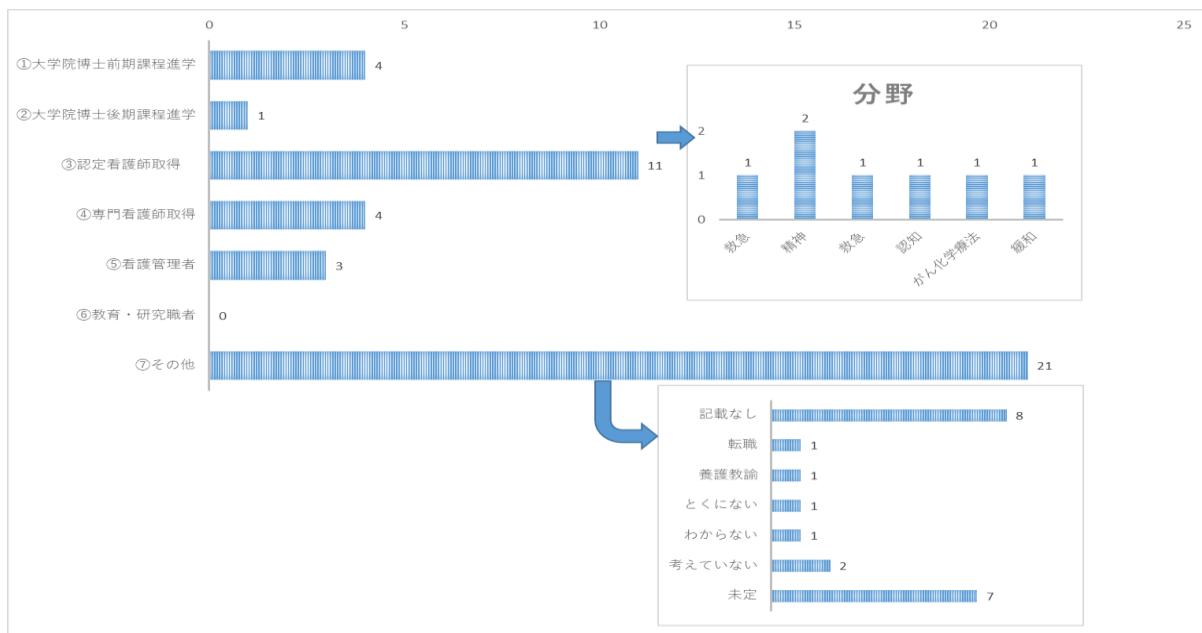
6. 本学の進路・就職サポート：卒業生対象



7. 卒業後の大学の活用：卒業生対象



8. 今後のキャリアについて：卒業生対象



9. 自由記載

(卒業生記載)

- 就職について先輩の実体験がなく病院選びに迷ったため、情報の充実に期待したい
- 疫学、講習生成等、保健師コースの授業が充実するとよい。また保健師の就職支援（国試対策、公務員試験対策や情報提供）があるとよい。
- 何かに強化し、知られる大学になってほしい。

(施設看護部記載)

- 職業倫理的な内容を具体的に教育して頂きたい。またその内容の公開講座などしていただけるとありがたいです
- 接遇、基本的姿勢や態度が重要と考えています。また倫理に関すること
- 社会人基礎力やレジリエンスの高め方などの学びを強化していただくとさらに良いと思います
- 業務にも積極的に取り組め、患者ともコミュニケーションがとれていてとても頼りになり、助かっています
- 4月シミュレーション研修、5~7月ローテーション研修、8月から正規配置している。これは社会人基礎力を身につけること、学生ジからのリアリティーショックの軽減、自分の希望セクションを見つけることを目的としています。そのため9月現在の看護実践能力は他施設と比べて低いと思います。
- 新卒者なので評価は厳しくさせていただきました。職業人としての自覚を持ち学び続けることが必要であることを伝えてほしいです
- 教育については特に意見はありません。年々メンタルが弱い新人が増えています。施設としては出来るだけフォローし、環境を整えるよう努力しています。卒業生へのフォローなども検討していただけますと幸いです。
- 2名の方はどうちらかというとおとなしい感じのタイプです。6ヶ月が過ぎ、夜勤も始まっています。日々の振り返りができ、自分から積極的に学習する姿勢を期待します。
- 入職半年で今は基本的な看護技術を習得することに精一杯で、ご質問のような能力を発揮するところまでは至っていません。数年後には答えが変わると思います